

介護技術評価で、 一步先行く事業所に

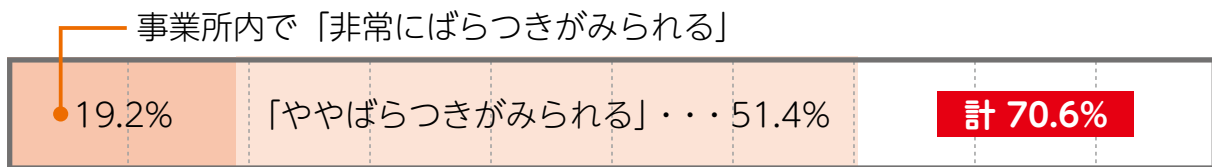
介護プロフェッショナルキャリア段位制度

- ➡ 評価者（アセッサー）が介護技術を業務の中で評価します。
- ➡ 現場で何ができるか（実践的スキル）の証明になります。
- ➡ 段位取得を目標に職員のやりがいやモチベーションの向上をはかり、あらたに介護職を目指す人の増加も目指す制度です。

介護技術の標準化が課題

- ➡ 介護技術評価については、これまで全国共通のものさしがなく、標準化が課題とされてきました。
- ➡ アンケートでは、70.6%の事業所管理者が介護技術の標準化についてばらつきありと回答しています。

評価者（アセッサー）講習参加事業所管理者へのアンケート



「介護職員の介護技術の標準化について」アンケート※より

※平成25年度「介護職員の資質向上（キャリアパス）におけるスキルの評価等の有効性に関する調査研究事業」
介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

介護技術評価の導入が全国で進んでいます

- ➡ 平成24年度、平成25年度で全国3,329名の評価者（アセッサー）を養成。
- ➡ 介護キャリア段位制度を契機として、全国事業所内で介護技術評価の導入が始まっています。

平成25年1月時点

介護技術評価
「未実施」

543事業所



介護キャリア段位
講習参加後

平成26年1月時点

介護技術評価
「実施！」

うち160事業所（約3割）

「介護職員の介護技術評価実施状況（平成26年1月現在）」アンケート※より

※平成25年度「介護職員の資質向上（キャリアパス）におけるスキルの評価等の有効性に関する調査研究事業」
介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート